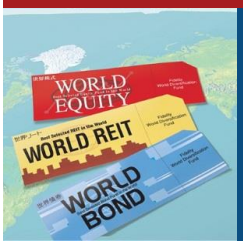


月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）

愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

Fidelity INTERNATIONAL

2022年5月

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型）

設定日：2006年3月9日
信託期間：原則として無期限
決算日：原則として毎年1、3、5、7、9、11月の各10日（休業日の場合は翌営業日）

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

LINE友だち追加はこちらから＞＞＞
フィデリティ投信LINE公式アカウントでは、マーケットに関する情報をお届けしています。

■基準価額・純資産総額の推移

	2022/4/28	2022/3/31
基準価額	10,579 円	10,570 円
純資産総額	71.0 億円	71.4 億円
累積投資額	19,653 円	19,637 円

基準価額（月中）	高値	10,802 円	（4月20日）
	安値	10,516 円	（4月8日）
基準価額（設定来）	高値	11,301 円	（2007年2月23日）
	安値	5,517 円	（2009年1月26日）
累積投資額（設定来）	高値	20,068 円	（2022年4月20日）
	安値	6,527 円	（2009年1月26日）

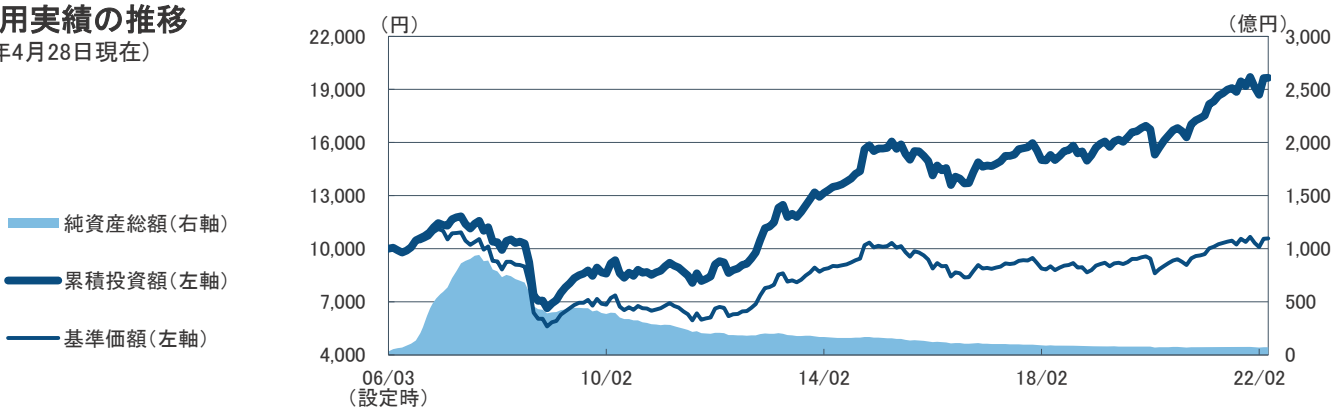
■累積リターン

（2022年4月28日現在）

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.09%	2.73%	1.01%	7.23%	22.35%	96.53%

■運用実績の推移

（2022年4月28日現在）



※基準価額は、運用管理費用（後述の「運用管理費用（信託報酬）」参照）控除後のものです。
※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■分配の推移（1万口当たり／税引前）

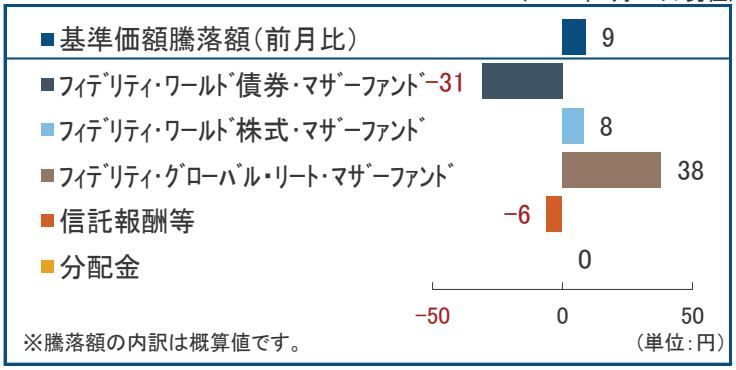
（2022年4月28日現在）

決算期	日付	分配金
第91期	2021年5月10日	30 円
第92期	2021年7月12日	30 円
第93期	2021年9月10日	100 円
第94期	2021年11月10日	30 円
第95期	2022年1月11日	30 円
第96期	2022年3月10日	30 円
設定来累計		5,251 円

※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

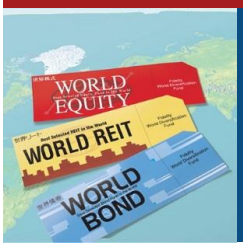
■基準価額の月間騰落額の内訳

（2022年4月28日現在）



※騰落額の内訳は概算値です。

※基準価額の月間騰落額の内訳は概算値であり、実際の基準価額の変動を必ずしも正確に説明するものではありません。あくまで参考情報として提供することのみを目的としており、将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。



月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）

愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

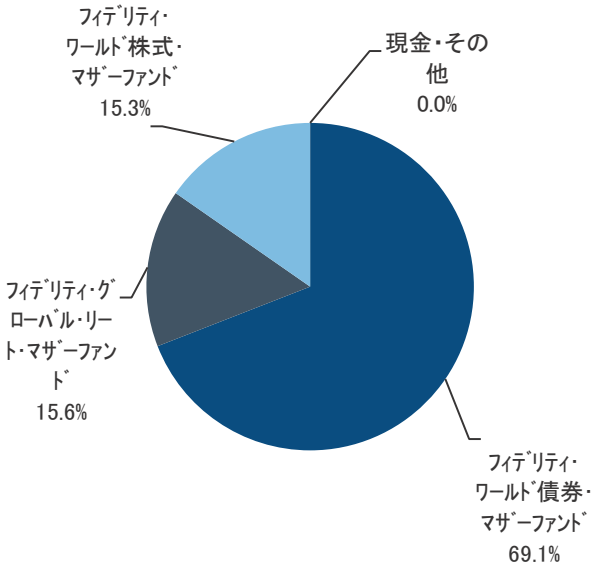
Fidelity INTERNATIONAL

2022年5月

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型）

（別途記載がない限り2022年3月末現在）

■ポートフォリオの状況



■各マザーファンドの運用実績

（2022年4月28日現在）

◆フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
−0.43%	0.46%	−1.99%	2.16%	15.66%	91.98%

◆フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
0.52%	6.11%	7.15%	14.04%	43.54%	187.86%

◆フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
2.27%	11.40%	12.02%	32.94%	51.53%	147.37%

※未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

◆国・地域別配分

アメリカ	35.2%
イギリス	21.1%
ドイツ	16.8%
オランダ	6.0%
ウガンダ	3.5%
フランス	2.6%
スイス	2.2%
日本	1.5%
ルクセンブルグ	1.2%
アイルランド	1.1%
その他	10.8%
現金・その他	−2.1%

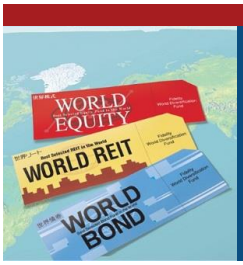
◆通貨別配分

アメリカ・ドル	45.6%
ユーロ	40.9%
イギリス・ポンド	7.4%
ウガンダ・シリング	3.5%
スイス・フラン	1.3%
その他	1.3%

（対純資産総額比率）

※国・地域別配分は、各マザーファンドの国・地域別配分を合算したものです。その内、フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンドについては、組入れているリートファンドの登録国・地域に基づき分類したものです。

※通貨別配分は、各マザーファンドの通貨別配分を合算したものです。



月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）
愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

Fidelity INTERNATIONAL

2022年5月

フィデリティ・世界分散・ファンド（株式重視型）

設定日：2006年3月9日
信託期間：原則として無期限
決算日：原則として毎年1、3、5、7、9、11月の各10日（休業日の場合は翌営業日）

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

LINE友だち追加はこちらから＞＞＞
フィデリティ投信LINE公式アカウントでは、マーケットに関する情報をお届けしています。

■基準価額・純資産総額の推移

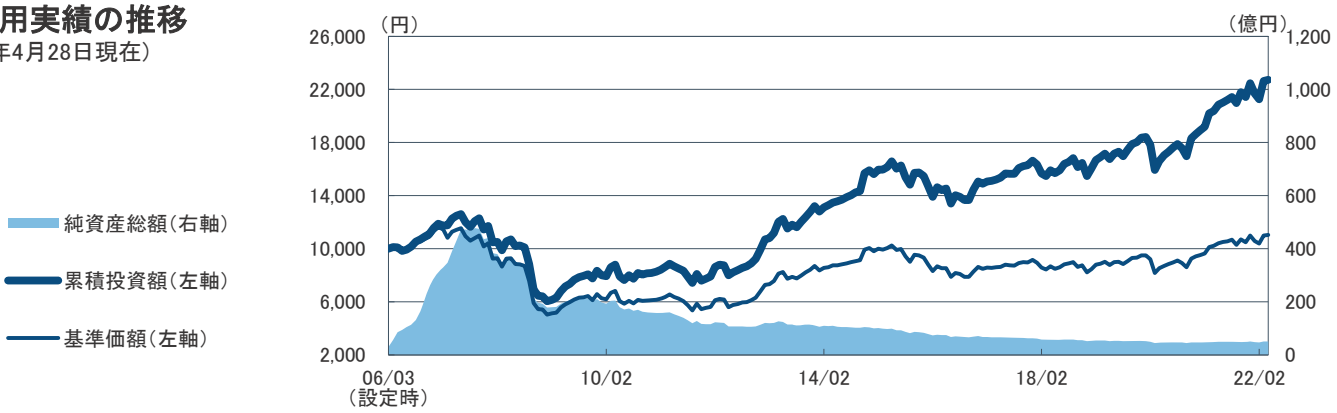
	2022/4/28	2022/3/31
基準価額	11,032 円	10,985 円
純資産総額	50.0 億円	49.9 億円
累積投資額	22,726 円	22,629 円

基準価額（月中）	高値	11,345 円	（4月22日）
	安値	10,901 円	（4月1日）
基準価額（設定来）	高値	11,871 円	（2007年2月23日）
	安値	4,820 円	（2009年3月10日）
累積投資額（設定来）	高値	23,371 円	（2022年4月22日）
	安値	5,871 円	（2009年3月10日）

■累積リターン
（2022年4月28日現在）

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.43%	4.77%	4.25%	11.55%	32.32%	127.26%

■運用実績の推移
（2022年4月28日現在）



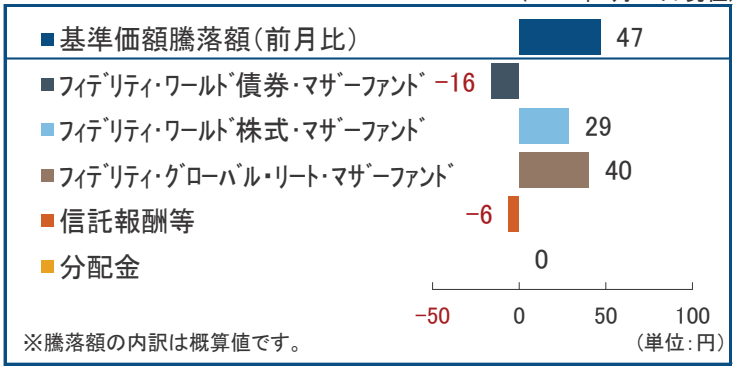
※基準価額は、運用管理費用（後述の「運用管理費用（信託報酬）」参照）控除後のものです。
※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■分配の推移（1万口当たり／税引前）
（2022年4月28日現在）

決算期	日付	分配金
第91期	2021年5月10日	35 円
第92期	2021年7月12日	35 円
第93期	2021年9月10日	150 円
第94期	2021年11月10日	35 円
第95期	2022年1月11日	35 円
第96期	2022年3月10日	50 円
設定来累計		5,998 円

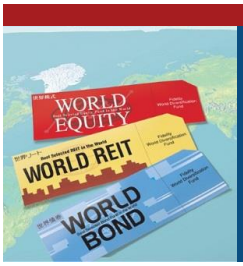
※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

■基準価額の月間騰落額の内訳
（2022年4月28日現在）



※騰落額の内訳は概算値です。

※基準価額の月間騰落額の内訳は概算値であり、実際の基準価額の変動を必ずしも正確に説明するものではありません。あくまで参考情報として提供することのみを目的としており、将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。



月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）

愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

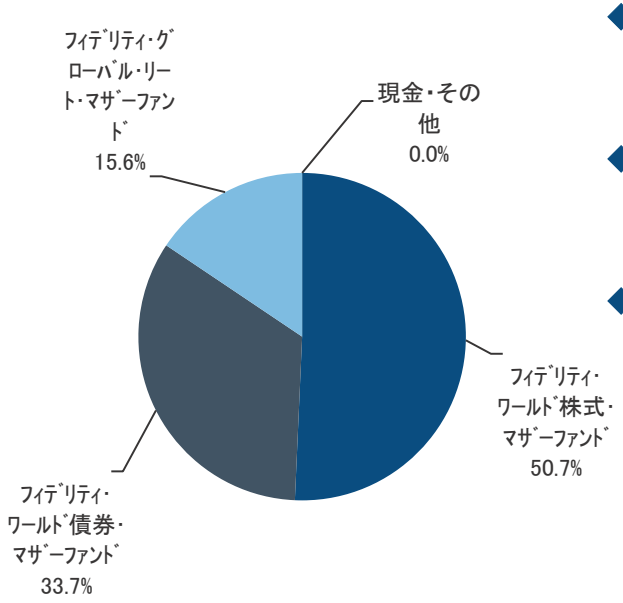
Fidelity INTERNATIONAL

2022年5月

フィデリティ・世界分散・ファンド（株式重視型）

（別途記載がない限り2022年3月末現在）

■ポートフォリオの状況



■各マザーファンドの運用実績

（2022年4月28日現在）

◆フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
−0.43%	0.46%	−1.99%	2.16%	15.66%	91.98%

◆フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
0.52%	6.11%	7.15%	14.04%	43.54%	187.86%

◆フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
2.27%	11.40%	12.02%	32.94%	51.53%	147.37%

※未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

◆国・地域別配分

アメリカ	36.8%
イギリス	17.6%
ドイツ	12.2%
フランス	5.0%
スイス	4.9%
オランダ	4.8%
日本	3.3%
スペイン	2.1%
フィンランド	2.1%
ウガンダ	1.8%
その他	10.1%
現金・その他	−0.6%

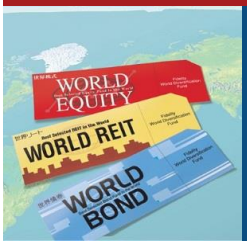
◆通貨別配分

アメリカ・ドル	44.2%
ユーロ	34.6%
イギリス・ポンド	8.5%
スイス・フラン	4.4%
日本・円	2.4%
ウガンダ・シリング	1.8%
台湾・ドル	1.1%
韓国・ウォン	1.0%
その他	2.0%

（対純資産総額比率）

※国・地域別配分は、各マザーファンドの国・地域別配分を合算したものです。その内、フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンドについては、組入れているリートファンドの登録国・地域に基づき分類したものです。

※通貨別配分は、各マザーファンドの通貨別配分を合算したものです。



月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）
愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

Fidelity INTERNATIONAL

2022年5月

（2022年4月28日現在）

■コメント

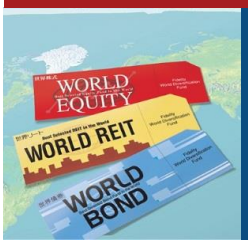
世界株式相場は、MSCIワールド・インデックスの月間騰落率で-3.42%(円ベース)。
【米国株式】月間騰落率は、S&P500種指数が-8.80%、ダウ工業株30種平均は-4.91%、ナスダック指数は-13.26%。米国株式は下落しました。金融引き締めにより、先行きの景気が減速して企業業績は鈍化するとの警戒が広がり、米国株式は大きな下落となりました。金利上昇の逆風を受け、特に、ハイテク株やグロース株の下落が顕著でした。ウクライナ戦争の影響で食料品やエネルギーの価格が一段と上昇したほか、上海での都市封鎖により供給網での混乱がインフレに拍車をかけました。また、2022年1-3月期の実質GDP速報値は前期比でマイナス成長となりました。輸出が減少した上、輸入が増加したことがマイナス要因でした。一方、個人消費は堅調な推移を維持しました。雇用者数は増加傾向が続き、賃金の伸びも高水準であるなど、雇用環境は良好なため、米国の景気は相対的に底堅いとの見方があります。
【欧州株式】MSCIヨーロッパ・インデックスの月間騰落率は-0.61%。月上旬は、短期的な自律反発や原油価格の高騰を背景に株式は買い戻されたものの、対ロシア経済制裁への強化や米金融政策に関する当局のタカ派的なコメントなどが相場の重石となりました。月中旬は、金利上昇への警戒感や長引くウクライナ情勢の不透明感が上値を抑える展開となりました。一方で、欧州中央銀行(ECB)理事会が想定ほど金融政策の正常化を急がないとの見方を示したことや好調な欧州の企業業績が好材料となりました。月下旬は、中国で新型コロナの感染拡大が続いていることを背景に世界経済への影響が懸念され、リスク回避の動きが強まり下落しました。また、米連邦準備制度理事会(FRB)が積極的に金融引き締めを進めるとの観測が相場を押し下げました。
【アジア株式】MSCI AC ファー・イースト・インデックス（除く日本）の月間騰落率は-4.02%。中国は下落しました。中国の景気刺激策が期待されたものの、米国の金融引き締め観測の高まりや中国のロックダウン実施に伴う世界景気の減速懸念により、下落しました。
【日本株式】TOPIX（配当込）は-2.40%。当月の東京株式市場は、金融引き締めを急ぐ米連邦準備制度理事会（FRB）の姿勢や、都市封鎖が続く中国の景気減速などが懸念され、下落しました。
FRB高官の発言や、3月の米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事録公表を受け、FRBの金融引き締めを急ぐ姿勢が警戒されたほか、新型コロナ対策のため一部地域で都市封鎖が続く中国の景気減速も懸念され、月初より日本株は売りに押される展開が続きました。3月の米消費者物価指数（CPI）で食品とエネルギーを除く伸び率が市場予想を下回ったことや、上海で都市封鎖が一部緩和されたことなどを好感し、中旬に入って買い戻される場面もありましたが、FRBの積極的な金融引締めが景気を冷やすとの懸念などが重石となり、その後は再び売りに押される展開となりました。ただ月末最終日は大規模な金融政策を継続する日銀の姿勢が確認されたことで、為替市場で1ドル=130円超の水準まで一段と円安が進んだことなどを背景に株価は反発し、月間の下げ幅をやや縮めて月を終えました。

世界債券市場はFTSE世界国債インデックスで-0.90%（円ベース）。
【海外債券】米国債相場は下落。米10年国債利回りは前月の2.33%から2.88%へ。その他先進国債も下落。ユーロ建10年国債利回りは前月の0.44%から0.82%へ、イギリスの10年国債利回りは1.51%から1.80%へ、カナダの10年国債利回りは2.38%から2.87%へ。
【ハイ・イールド債券】米国は、ICE BofA USハイ・イールド・コンストレインド・インデックスで-3.65%。欧州は、ICE BofAグローバル・ハイ・イールド・ヨーロピアン・イシュアーズ・コンストレインド・インデックス（レベル4-20%）（ユーロヘッジ・ベース）で-2.86%。
【エマージング債券】JPモルガン・EMBIグローバルの月間リターンは-5.48%。

世界リート市場は、FTSE EPRA/NAREIT 先進国REITインデックスで+0.09%（円ベース）。
月上旬は、米連邦準備制度理事会(FRB)が利上げや保有資産の縮小など積極的な金融引き締めを進めるとの見方が広がったほか、ロシア・ウクライナ情勢に関する懸念も根強く上値の重い展開となりました。月中旬は、米経済統計を手掛かりにインフレを巡る過度な警戒感がいったん和らぎ、底堅く推移しました。月下旬は、中国における都市封鎖の拡大を見込む向きが広がったうえ、米ネット通販企業の低調な決算なども相まって投資家心理が悪化し、値を崩しました。業種別では林業やホテル・リゾートが上昇した一方、オフィス、ヘルスケア、倉庫などが下落しました。

【為替】
米ドル／円相場は、約5.29%の円安（1米ドル＝122.39円→128.86円）。
ユーロ／円相場は、約0.64%の円高（1ユーロ＝136.7円→135.83円）。
（※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替レートは、三菱UFJ銀行発表値を使用。）

※コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。また、為替相場等の影響により当ファンドおよび指数等の動向と異なる場合があります。



月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）
愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

Fidelity INTERNATIONAL

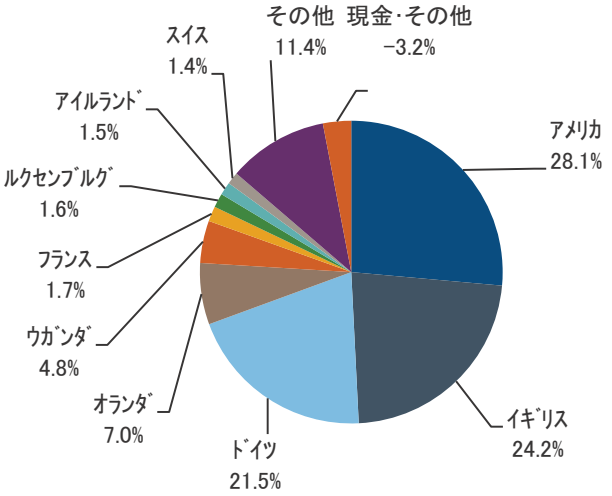
2022年5月

【ご参考】ポートフォリオの状況

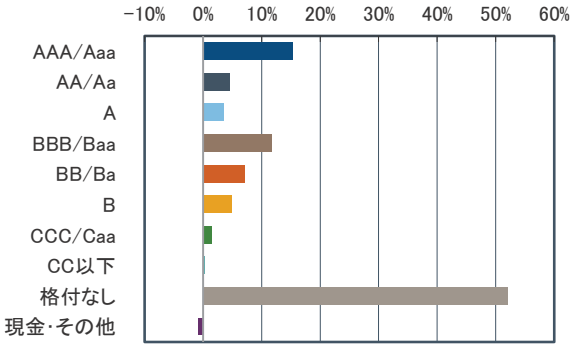
（別途記載がない限り2022年3月末現在）

■フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド

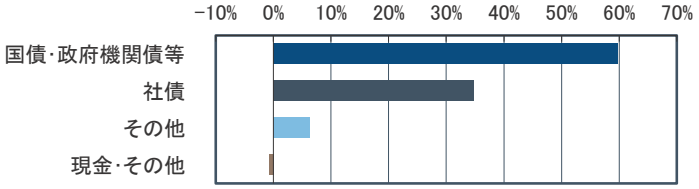
◆国・地域別配分



◆組入債券格付別配分



◆組入債券種別配分



◆組入投資信託の組入比率

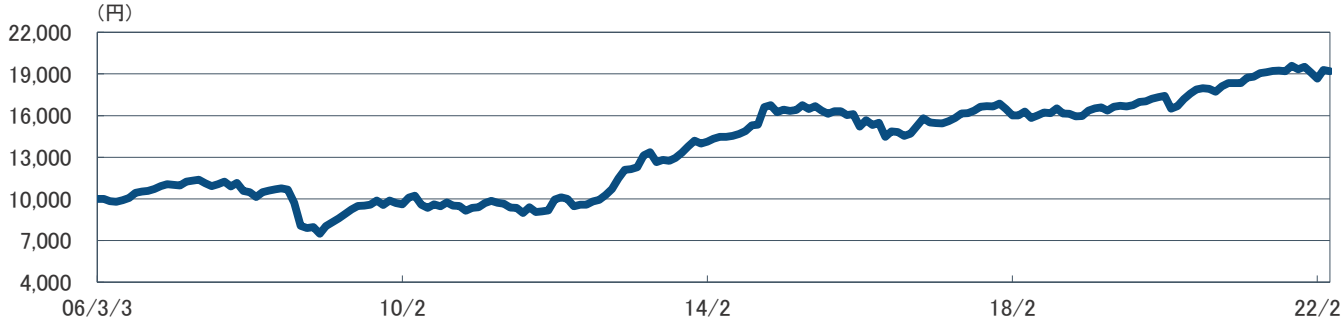
ファンド	組入比率
フィデリティ・ファンズ－USドル・ボンド・ファンド	36.1%
フィデリティ・ファンズ－ユーロ・ボンド・ファンド	35.5%
フィデリティ・ファンズ－エマージング・マーケット・デット・ファンド	9.2%
フィデリティ・インスティテューショナル・ファンズ－サステナブル・UK・アグリゲート・ボンド・ファンド	7.8%
フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド（適格機関投資家専用）	5.1%
フィデリティ・ファンズ－ヨーロピアン・ハイ・イールド・ファンド	4.9%

（対純資産総額比率）

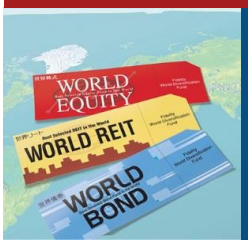
※格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。（「プラス／マイナス」の符号は省略しています。）なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

◆基準価額の推移

（2022年4月28日現在）



※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。



月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）
愛称： 3つのチカラ
追加型投信／内外／資産複合

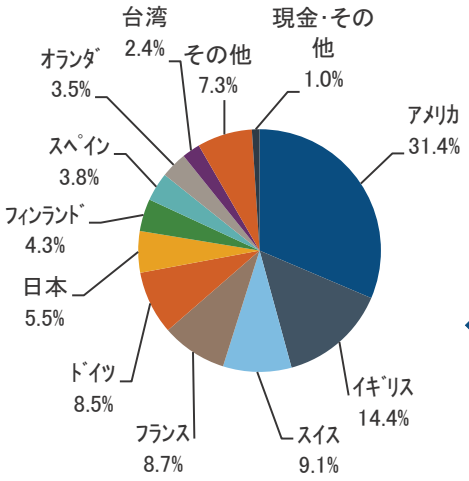
Fidelity INTERNATIONAL

2022年5月

■フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド

（別途記載がない限り2022年3月末現在）

◆国・地域別配分



◆組入投資信託の組入比率

ファンド	組入比率
フィデリティ・ファンズ－グローバル・ディビデンド・ファンド	99.7%
フィデリティ・ファンズ－USドル・キャッシュ・ファンド	0.1%

（対純資産総額比率）

◆基準価額の推移

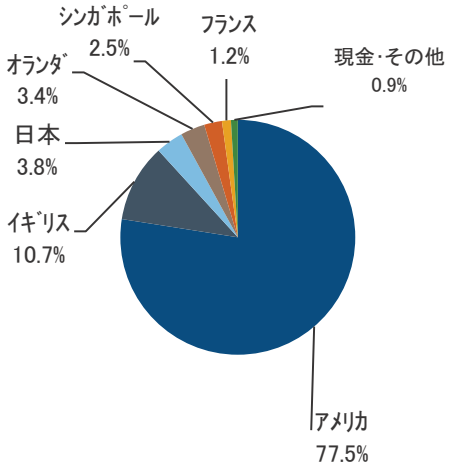
（2022年4月28日現在）

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド

（別途記載がない限り2022年3月末現在）

◆国・地域別配分



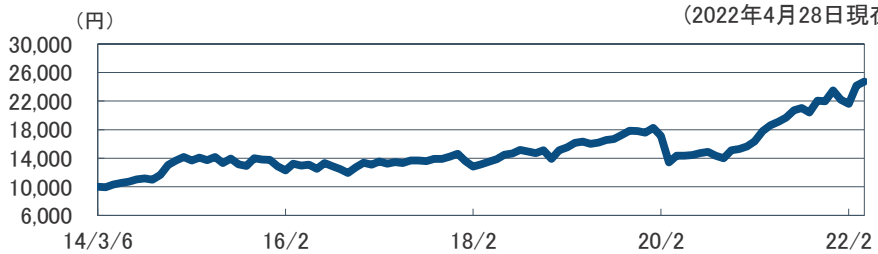
◆組入上位10銘柄 （組入銘柄数： 22 ）

	銘柄	組入比率
1	プロロジス	9.8%
2	パブリック・ストレージ	7.0%
3	デジタル・リアルティー・トラスト	6.8%
4	インビテーション・ホームズ	6.5%
5	エクイティ・レジデンシャル	6.1%
6	アメリカン・ホームズ4レント	6.1%
7	ヘルスピーク・プロパティーズ	6.0%
8	カムデン・プロパティー・トラスト	5.8%
9	エクイティ・ライフスタイル・プロパティーズ	5.4%
10	ヘルスケア・リアルティ・トラスト	4.9%
	上位10銘柄合計	64.6%

（対純資産総額比率）

◆基準価額の推移

（2022年4月28日現在）

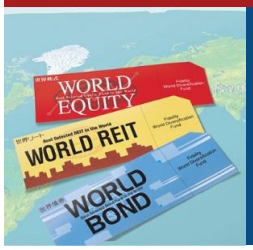


※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※国・地域別配分は、各リートファンドの登録国・地域に基づき分類したものです。

※銘柄はご参考のため、英文表記の一部をカタカナで表記しております。実際の発行体名と異なる場合があります。

※フィデリティ投信が作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示資料のデータに基づき作成しております。ファンドによってはデータの分類方法や評価基準日が異なる場合があるため、概算・推定値となります。掲載データに関する正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。あくまでもファンドの概略をご理解いただくことを目的として作成されておりますことにご留意ください。



月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）
愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

Fidelity INTERNATIONAL

2022年5月

■組入投資信託の概要と累積リターン

（2022年4月末現在）

◆世界債券

・フィデリティ・インスティテューショナル・ファンズ－サステナブル・UK・アグリゲート・ボンド・ファンド（英国籍証券投資法人）

主として英ポンド建て(もしくは英ポンドヘッジ)投資適格債券に投資し、インカムの確保と元本の成長を目指します。当ファンドは純資産の70%以上を、各業種で優れたサステナビリティ特性を有する企業の株式に投資する「ベスト・イン・クラス」戦略を採用しています。サステナビリティ特性とは、効果的な企業統治と環境・社会問題への優れた取り組み（ESG）を含む企業の性質を指しています。

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
−0.0%	−0.6%	−4.5%	−0.3%

・フィデリティ・ファンズ－ユーロ・ボンド・ファンド（ルクセンブルグ籍証券投資法人）

主としてユーロ建ての債券に投資を行ないます。

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
−1.8%	−1.0%	−3.8%	−3.8%

・フィデリテイ・USハイ・イールド・ファンド（適格機関投資家専用）（国内証券投資信託）

フィデリティ・USハイ・イールド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米ドル建ての高利回り社債（ハイ・イールド債券）を主要な投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行なうことを基本とします。

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
2.3%	7.4%	6.9%	16.6%

・フィデリティ・ファンズ－ヨーロピアン・ハイ・イールド・ファンド（ルクセンブルグ籍証券投資法人）

主として、本店所在地が西ヨーロッパ、中央ヨーロッパ、東ヨーロッパ（ロシアを含む）にあるか、活動の大半がそれらの地域で営まれている発行体の高利回り事業債（ハイ・イールド債券）に投資を行ない、高水準のインカムの確保と値上り益の追求を目指します。

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
−0.1%	0.9%	−3.1%	−1.9%

・フィデリティ・ファンズ－エマージング・マーケット・デット・ファンド（ルクセンブルグ籍証券投資法人）

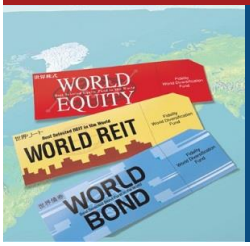
主としてエマージング債券に投資し、インカムの確保と値上り益の追求を目指します。

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
2.5%	−2.1%	−6.0%	−1.2%

・フィデリティ・ファンズ－USドル・ボンド・ファンド（ルクセンブルグ籍証券投資法人）

主として米ドル建ての債券に投資を行ないます。

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
3.7%	4.8%	3.7%	10.1%



月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）
愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

Fidelity INTERNATIONAL

2022年5月

■組入投資信託の概要と累積リターン

（2022年4月末現在）

◆世界株式

・フィデリティ・ファンズ－グローバル・ディビデンド・ファンド（ルクセンブルグ籍証券投資法人）

主として世界の高配当株式に投資し、長期的な元本成長とインカムの確保を目指します。

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
3.9%	7.1%	9.2%	15.5%

・フィデリティ・ファンズ－USドル・キャッシュ・ファンド（ルクセンブルグ籍証券投資法人）

主として米ドル建ての債券等に投資を行ないます。

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
7.9%	13.7%	14.8%	19.7%

◆世界リート

・フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド（国内証券投資信託）

主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託（リート）（これに準ずるものを含みます。）に投資を行ない、配当等収益の確保と投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。

※過去の運用実績は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。
※あくまでも参考として情報提供をすることを目的としており、上記個別ファンド売買を推奨するものではありません。また日本での販売を行なっていないファンドも含まれます。
※作成時点で取得可能なデータに基づき作成しております。
※累積リターンは円ベースです。基準日時点で保有がある各組入投資信託につき、組入開始以降に計算されたものを掲載しております。

※本資料においてグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

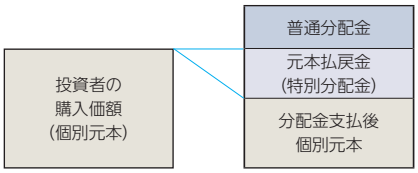
収益分配金に関する留意事項

1 ファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、それぞれの投資者ご自身の個別元本の一部払戻しに相当する場合があります。
2 分配金は預貯金の利息とは異なり、分配金支払い後の純資産は減少し、基準価額の下落要因となります。
3 分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があり、その場合当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落します。

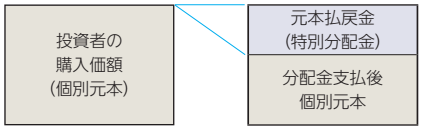
分配方針や頻度の異なるコースが存在する場合は、投資者は自身の選好に応じて投資するコースを選択することができます。販売会社によってはコース間でスイッチングが可能です。

1 投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
ファンドの購入価額は、個々の投資者によって異なりますので、投資期間全体での損益は、個々の投資者によって異なります。

分配金の一部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合



●「個別元本」とは、追加型投資信託の収益分配金や解約(償還)時の収益に対する課税計算をする際に用いる個々の投資者のファンドの購入価額のことを指します。
●「普通分配金」とは、個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
●「元本払戻金(特別分配金)」とは、個別元本を下回る部分からの分配金です。実質的に元本の払戻しに相当するため、非課税扱いとなります。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

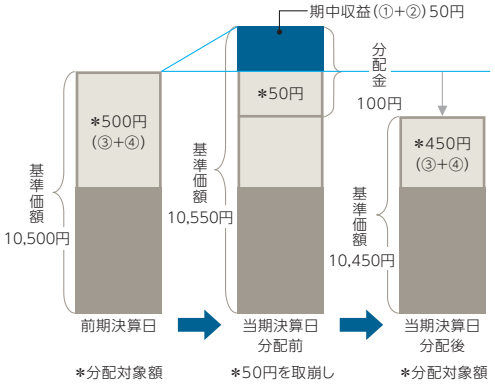
※普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

2 分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。

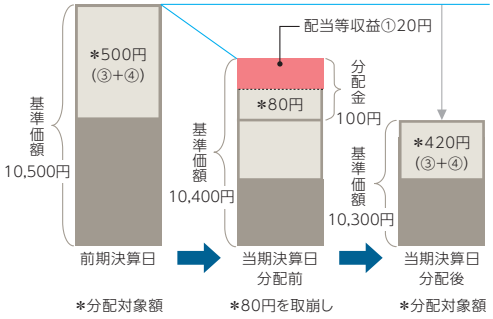
投資信託で分配金が支払われるイメージ

3 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。
投資信託は、当期の収益の他に、ファンドの設定から当期以前の期間に発生して分配されなかった過去の収益の繰越分等からも分配することができます。

前期決算から基準価額が上昇
当期計算期間の収益がプラスの場合



前期決算から基準価額が下落
当期計算期間の収益がマイナスの場合



※分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型／株式重視型）

追加型投信／内外／資産複合

ファンドの特色

1 主として、フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド、フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンドの各受益証券への投資を通じて、世界（日本を含みます。）の債券、株式、不動産投資信託（リート）へ実質的に分散投資を行ない、主として配当等収入を確保することを目的に運用を行ない、長期的な投資信託財産の成長を目指します。

2 フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド株式・マザーファンドの運用は、国内外の投資信託証券＊（投資対象ファンド）への投資を通じて行ない、ファンド分散・地域（種別）分散を図ります。

3 各マザーファンドへの基本配分は、主として各資産の利回り水準、流動性、リスク・リターン特性等を考慮して配当等収入の確保とリスクの分散を目指して決定します。また運用環境の変化により配分比率を調整することがあります。

4 各マザーファンド受益証券への資産配分は、概ね投資信託財産の純資産総額に対して以下の比率を基本投資割合とします。

	フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド	フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド	フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド
フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型）	70%	15%	15%
フィデリティ・世界分散・ファンド（株式重視型）	35%	50%	15%

5 隔月決算を行ない、基準価額の水準、市況動向を勘案して分配を行ないます。分配は、利子・配当等収入の他、売買益（評価益を含みます。）からも行ない、安定的な分配を目指します。

6 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行ないません。

※資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては上記のような運用ができない場合もあります。
＊ FILリミテッドおよびFIAM LLCならびにそれらの関連会社が運用する投資信託証券をいいます。

[運用の委託先]

ファンドの運用の指図に関する権限の委託については以下の通りです。

委託先名称	委託する業務の内容
FILインベストメント・マネジメント（香港）・リミテッド	委託会社より運用の指図に関する権限の委託を受け、ファンドの基本資産配分に関する運用の指図を行ないます。
FILインベストメンツ・インターナショナル（所在地：英国）	委託会社より運用の指図に関する権限の委託を受け、上記以外のファンドの運用の指図を行なうことがあります。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。
ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。
ファンドが有する主なリスク等（ファンドがマザーファンドを通じて主に投資を行なう投資対象ファンドが有するリスク等を含みます。）は以下の通りです。

主な変動要因

価格変動リスク	基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。
信用リスク	有価証券等への投資にあたっては、発行体において利払いや償還金の支払いが遅延したり、債務が履行されない場合があります。なお、ハイ・イールド債およびエマージング・マーケット債に投資を行なう場合には、上位に格付けされた債券に比べて前述のリスクが高くなります。
金利変動リスク	公社債等は、金利の変動を受けて価格が変動します。一般に金利が上昇した場合には債券価格は下落し、金利が低下した場合には債券価格は上昇します。
為替変動リスク	外貨建の有価証券等に投資を行なう場合は、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型／株式重視型）

追加型投信／内外／資産複合

デリバティブ（派生商品）に関するリスク	ファンドは、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ（派生商品）を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。デリバティブの利用はヘッジ目的に限定されず、運用の効率を高めたり、超過収益を得るための手段として用いられる場合もあります。デリバティブは基礎となる資産、利率、指数等の変動以上に値動きする場合があります。また、デリバティブ以外の資産の価格の動きに加えて、デリバティブの価格の動きがファンドの基準価額の下落要因となる場合があります。
リートに関わるリスク	リートへの投資においては、保有不動産の評価額、リートに関する規制（法律、税制、会計等）、不動産市況（空室率の変動等）等、リート固有の価格変動要因の影響を受けます。
エマージング市場に関わるリスク	エマージング市場（新興諸国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

クーリング・オフ	ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
流動性リスク	ファンドは、大量の解約が発生し短期間に解約資金を手当てする必要が生じた場合や、主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや、取引量が限られるリスク等があります。その結果、基準価額の下落要因となる場合や、購入・換金受付の中止、換金代金支払の遅延等が発生する可能性があります。

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型／株式重視型）

追加型投信／内外／資産複合

お申込みメモ

商品の内容やお申込みの詳細についての照会先	委託会社	フィデリティ投信株式会社
	インターネットホームページ	https://www.fidelity.co.jp/
	フリーコール	0120-00-8051（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）
	上記または販売会社までお問い合わせください。	
購入単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。	
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	
購入代金	販売会社が定める期日までに、お申込みの販売会社にお支払いください。	
換金単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。	
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額とします。	
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から、お申込みの販売会社にてお支払いします。	
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社が受付けたものを、当日のお申込み受付分とします。	
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークにおける銀行休業日、英国における休業日及び12月25日においては、スイッチングを含めお申込みの受付は行ないません。	
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、1日1件5億円を超えるご換金はできません。また、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。	
信託期間	原則として無期限（2006年3月9日設定）	
繰上償還	各ファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。	
決算日	原則、毎年1月、3月、5月、7月、9月及び11月の各10日 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。	
ベンチマーク	ファンドにはベンチマークを設けません。	
収益分配	年6回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。 販売会社との契約によっては、収益分配金は、税引き後無手数料で再投資が可能です。 ※毎年3月および9月に到来する計算期末においては、基準価額水準等を勘案し、安定分配相当額に加えて分配対象額の範囲から、委託会社が決定する額を付加して分配を行なう場合があります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。	
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」、「ジュニアNISA」の適用対象です。	
スイッチング	販売会社によっては、債券重視型・株式重視型間にてスイッチングが可能です。スイッチングに伴うご換金にあたっては、通常のご換金と同様に信託財産留保額及び税金がかかります。 ※スイッチングの取扱い内容等について、詳しくは、販売会社へお問い合わせください。	

ファンドの費用・税金

購入時手数料	**3.30%（税抜3.00%）を上限**として販売会社が定めます。 ※詳しくは、お申込みの販売会社にお問い合わせください。
換金時手数料	ありません。
スイッチング手数料	販売会社によってはスイッチング手数料がかかる場合があります。詳しくは、販売会社へお問い合わせください。
信託財産留保額	基準価額に対し**0.20%**です。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に対し、年0.858%（税抜0.78%）の率を乗じた額が運用管理費用（信託報酬）として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、ファンドの毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型／株式重視型）

追加型投信／内外／資産複合

投資対象とする投資信託証券*	債券重視型	株式重視型
	年率0.45%±0.20%（税込）程度	年率0.50%±0.20%（税込）程度
実質的な負担*	債券重視型	株式重視型
	年率1.31%±0.20%（税込）程度	**年率1.36%±0.20%（税込）程度**
その他費用・手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、ファンドからその都度支払われます。ただし、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示できません。	
	法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%（税込）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎年5月及び11月に到来する計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。	
税金	原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。	

*この値は、あくまでも目安であり、投資対象ファンドの変更や組入状況等により変動します。

※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ファンドの費用・税金の詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社、その他の関係法人

委託会社	**フィデリティ投信株式会社** 【金融商品取引業者】関東財務局長（金商）第388号 【加入協会】一般社団法人　投資信託協会　　一般社団法人　日本投資顧問業協会 投資信託財産の運用指図などを行ないます。
受託会社	**三菱UFJ信託銀行株式会社** 投資信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の金融機関への指示・連絡などを行ないます。
運用の委託先	**FILインベストメント・マネジメント（香港）・リミテッド** 委託会社より運用の指図に関する権限の委託を受け、ファンドの基本資産配分に関する運用の指図を行ないます。 **FILインベストメンツ・インターナショナル（所在地：英国）** 委託会社より運用の指図に関する権限の委託を受け、上記以外のファンドの運用の指図を行なうことがあります。
販売会社	販売会社につきましては、委託会社のホームページ（アドレス：https://www.fidelity.co.jp/）をご参照または、フリーコール：0120-00-8051（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）までお問い合わせいただけます。 ファンドの募集の取扱い、一部解約の実行の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・償還金・一部解約金の支払いなどを行ないます。

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入しておりません。
- 「フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型／株式重視型）」がマザーファンドを通じて主に投資を行なう投資対象ファンドは、主に国内外の債券、株式および不動産投資信託（リート）を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドおよびマザーファンドの基準価額は、投資対象ファンドが組み入れた債券、株式、リートおよびその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資対象ファンドが組み入れた債券、株式、リートおよびその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書（交付目論見書）については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ（https://www.fidelity.co.jp/）をご参照ください。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

■フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型） 販売会社情報一覧（順不同）

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第6号	○		○	
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○			
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金）第2号	○		○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第15号	○		○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○		○	
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第1号	○			
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第65号	○			○
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第56号	○			
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第11号	○		○	
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長（金商）第21号	○			
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第10号	○			
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号	○		○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長（金商）第37号	○			
十六TT証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第188号	○			
株式会社新生銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第578号	○		○	○
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第114号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第40号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○		○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第24号	○			○
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○			
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1977号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○		○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第5号	○		○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○	○		
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○		○	
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長（金商）第24号	○			
ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレイション・リミテッド（香港上海銀行）*	登録金融機関	関東財務局長（登金）第105号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第94号	○	○	○	○
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第36号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
株式会社琉球銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金）第2号	○			
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○			

*株式重視型のみのお取扱いとなります。

＊上記情報は当資料作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
販売会社によってお申込みの条件、制限等が異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

CSIS220131-19